

2025 年 5 月 19 日

報道関係各位

EAGLYS CEO の今林が 広島県三原市の AI コーディネーターに就任

EAGLYS 株式会社

EAGLYS 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：今林広樹、以下 EAGLYS）と広島県三原市（市長：岡田 吉弘、以下 三原市）は 2025 年 5 月 15 日(木)、EAGLYS CEO の今林が三原市の AI コーディネーターとして就任することを発表しました。三原市はより良い街づくりのため「デジタルプラットフォームによる共創」「イノベーションコーディネーターによる共創」「AI 技術の活用」に取り組んでおり、今林は「AI 技術の活用」を推進すべく AI コーディネーターに就任しました。



近年の AI 技術の急速な進化により、地方自治体の業務効率化や市民サービス向上に AI が貢献する可能性が高まっています。三原市においても、全職員に生成 AI サービスを導入し、半年間で約 2,000 時間の業務時間を削減。その時間を政策立案など知的生産の時間にあてることで、住民サービスや満足度の向上を図っています。

しかしながら AI のさらなる活用を検討した場合、専門家ではない市職員が日々の業務に携わりながら最新の動向を追うことには限界があります。こうした状況を踏まえ、三原市は AI に関する技術や知見を持ち合わせた外部専門人材の必要性を認識。三原市イノベーションコーディネーターの吉田知広氏（アビームコンサルティング株式会社）を通じて三原市と EAGLYS の連携が実現し、自身の技術や知見を地方貢献に活かしたいとの思いから、EAGLYS 今林が三原市初の AI コーディネーターに就任いたしました。

今年度は、AI 技術に対する知識や潜在的なリスクなどについての研修を実施し、AI による課題解決への理解を深め、次年度以降は AI 技術を使ったサービス導入の検討にあたって、事業者と市の橋渡し役としての活動も視野に入れています。

■三原市 AI コーディネーターについて

任期：2025 年 5 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日

主な役割

1. 最新の AI 技術の動向分析及び事例の情報提供

2. AI 技術の自治体への適用可能性に対する助言
3. 職員向けの AI リテラシー向上、および AI 活用の研修に対する支援
4. 市内事業者向けの AI 活用事例紹介



▲左から今林広樹(EAGLYS)、岡田吉弘市長、吉田 知広氏(アピームコンサルティング)。
後ろのディスプレイに映るのは岡田市長の AI エージェント

■広島県 三原市について

人 口：90,573

世帯数：39,091

概 要：2005 年に三原市、ほか 3 つの町が合併してできた新しい市。広島県の中心に位置し、自然豊かでありながら交通の要衝がそろう。積極的に AI を活用している自治体で、すでに生成 AI による約 2,000 時間の業務時間削減を実現しており、今後は市内小中学校 30 校で採点/集計/分析を行う AI システム導入を予定。グルメは瀬戸内海で獲れるタコや、鳥もつの入ったお好み焼きなど。

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/>

■EAGLYS 株式会社について

設 立：2016 年 12 月

本 社：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 丁目 27-3 やまとビル 7F

代表者：代表取締役社長 今林広樹

事業内容：EAGLYS は、安全なデータ活用を実現する秘密計算技術と最先端 AI 技術とをかけ合わせた、データセキュリティ／データ利活用支援／AI 設計・開発の事業を展開する企業です。業界各社の秘匿データ収集から AI・データ活用を支えるアプリケーション基盤の開発と、それを実現する要素技術の応用研究が強みです。『世の中に眠るデータをつなぐハブとなり、集合知で社会をアップデートする』というビジョンの下、様々なお客様の AI ならびにデータのコラボレーション促進を支援しております。

<https://www.eaglys.co.jp>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

EAGLYS 株式会社 広報担当

pr@eaglys.co.jp